

MG
K2993
83

民國廿六年一月十日

河南省
各縣聯合
及共救國漫畫
論文展覽會
概況報告

河南省公署
教育廳



3 2337 9557 8

河南省各縣聯合反共救國漫畫論文展覽會概況

時期 民國廿八年一月八日午前十時——午後五時
場所 彰德縣之立第一小學棧內

情況

- 一 會長一辯（呂教育庁長）
- 二 來賓代表（兵站支部長）
- 三 經過報告
- 四 各縣出品數
- 五 陳列配置情況
- 六 參觀總人數

52

七

成

果

呂會長、辭（華文日談）

本日河南省各縣聯合反共救國漫畫論文展覽會開催スルニ當リ
會長トシテ一言啓様ニ述ヘサセテ頂キマス

本大會開催ノ趣旨ハ兒童ノ反共救國ノ精神ヲ高揚シ兒童ノ反共救
國心理ニ基キ一般民衆ヲ自覚マシメ反共救國ノ精神ヲ普及徹底セシ
ルニ在リ我々官民一致團結シ以テ共產黨ヲ排撃シ新民主義ヲ體得
實際窮行シ新政權ヲ擁護シ新中國建設ヲ遂行スルヲ爲メ今國々催
フシタテテアリマス

然レ短期間ノ準備ニ依リ採ホマレタル作品ニ何モ精巧ナルモノハ在リ
ヤシカ現在原列セル作品ハ總テ兒童ノ自作ヲ幼稚ニシテモ良ク反共救國ノ
精神ノ現レテ居リマスハ教師ノ指導適切ヲ得テ居ルト云フモ宜シユセウ
今後兒童諸君ハ家庭ノ父兄隣郷ノ民衆ニ對シテ隨時ニ反共救國精神
ノ普及徹底ヲ圖リ所期ノ目的達成ニ努メラレントラ希望シ併ニ益ニ

官民一致協力し東亞再建ノ理想ニ向ツテ邁進サレテラ希望ニ付ス。

未賓祝辞 (兵站支部長)

本日河南省各縣聯合及共敵國漫画論又展覽會式典ニ參加シ得
マシテ事ハ一板ノ數元光榮ト存スル次第ナリマシマス共在座黨ノ國家ヲ喜シ
シメテ
國氏ヲ苦シムルモノテ全吾界ノ人類ノ敵ナレト共ニ國家ノ敵ナリマシマス
中日國氏ハ官民一致相提携シ以テ及共割滅ヲ計リ東亞永遠ノ平和ヲ謀ル
ルニハナリマセン諸君ノ建念ニ身心ヲ以テ將未新中國ノ家社會ノ在るニ
青年トシテ國家ノ隆盛ヲ期サレン事ヲ祈リマス惟ニ我中日兩國人ハ自
同種ナレト共ニコノ外ニ數クハ同種ナルニ突ク有マス
諸君何ト答マスカ恐ラズ「及共」ト答ヘルテヤウ立派ニ屈落テス兩國人ノ理
節精神ノ一致ヲ居ル莫ク又吾々ハ相提携シテ及共滅亡ノ途ヲニ勇往邁
進スルコトカ所業ナリ又教師各位、指導、依、將未共滅亡戰線ノ奮力
ナラシムルヲ熱心ニ望ムル次第ナリマシマス。

級過報告(吳設備組長) 幸文日記

我カ臨時政府ハ昨年十一月八日附各省市ニ對シ十一月十六日ヨリ十二月十日迄向ニヶ月間及共敝國民象運動大會ヲ舉行スルルヲ訓令セラレタリ
本省ニ於テモ右判令ニ基キ諸般ノ計畫ヲ進メタル 該大會實施事項ノ一トシテ當時種種々檢討協議、且大會期間内ニ各縣ニ於テ各階級民衆互及共敝團ニ開スル漫遊及論文、作品展覽會ヲ開催セシメ一般民衆ニ對シ所期ノ目的達成ニ努ムル様指令ヲ發シタリ而シテ右展覽會終了後之ヲ教育方面ニ纏メ別列トシ大會期間内ニ各縣聯合展覽會ヲ開催スル事トセルモ其後ニ於ケル各縣、作品提出遲延セル者ノ不得止去ル一月二日開催スル事ニ決定セリ然ルモ右兩期ハ恰モ新年ノ休暇ニ當リ遂ニ今日迄延期シタルハ甚ク遺憾トトスル所ナリ出島縣十縣尚各様團ニ募集セル者漸ク教育方面設 教育人員講演會等並ニ自宣傳堂、出島、ミニテ瀨道懐トスル所ナリ作品總數漫遊、
1600、
論文ハ七八百其外款漫遊、彰徳縣三五三英、
筆頭ニ

16

各縣出品數

縣名	漫漶	論文	縣名	漫漶	論文	縣名	漫漶	論文	備
彰德	三三三	二九八	博愛	七九	七〇	獲嘉	一八	二〇	漫漶一〇四〇
新鄉	一九八	一〇五	淇	四九	三七	修武	一〇	一五	論文八七八
汲	一一〇	一五四	武安	四五	三〇	教諭會	一九	三四	
湯陰	一〇〇	七九	輝	三四	三〇	音宣堂	一八	〇	

彰新鄉縣一九八矣汲縣二〇矣湯陰縣一〇〇矣博愛縣七九矣淇縣
 四六矣武安縣四五矣輝縣二〇矣獲嘉縣八矣修武縣一〇矣教諭會
 教育人更講習會一九矣音宣傳堂十八矣ナリ 論文彰德縣二九八矣淇縣
 二法縣一五八矣新鄉縣一〇五矣湯陰縣七九縣博愛縣二〇矣淇縣三六六
 輝縣三〇矣武安縣三〇矣獲嘉縣二〇矣修武縣一〇矣教育人更講習
 會三四矣ナリ

尚各縣展覽會實施結果之相宜良好ナル成果ヲ收メタル事ナリ

陳列配置情況

室名	縣別	漫畫	論文	室名	縣別	漫畫	論文	備考
第一室	彰德	一七一	一五五	第四室	淇	四六	三七	
第二室	彰德	一八一	一四三	第五室	修武	一〇	〇	
〃	輝	〇	三六	〃	輝	三四	〇	
〃	武安	〇	三〇	〃	武安	四五	〇	
〃	修武	〇	一五	〃	武稱會	一九	三四	
第三室	新鄉	一九八	一〇四	〃	有宣室	一八	〇	
〃	汲	一三〇	一五四	〃	〃	〃	〃	
第四室	陽陰	一〇〇	七九	總計	〃	一〇四〇	八九八	
〃	博愛	七九	七〇	〃	〃	〃	〃	
〃	平獲言前	一八	二〇	〃	〃	〃	〃	

參觀總人負 八〇〇名 右

秋米

これ従来多岐の職に補うが、
私見ヲ説演スルニ過ラズ、
共滅党ノ精神ニ集中シ、
セラル

又従来一敗民衆ノ見立ニ、
認議不長ノ多ク、
印象ハ今固シ儀ニ依リ、
シラル

3. 陳列セル漫画論文等、
幼稚ナル心裡ニ歟シタル
政界民ハ彼等ノ眼ニ与リ
童心に感ニル儘ヲ表現シ、
前説ノ和キ成果ヲ収メタルハ当然トラン

4. 量表ニ及共救國民衆運動大會ニ依リ党共政治ト共產邪説ノ如何ニ惡劣
危険ナルヲノ印象ヲ一取民衆ニ共ニタリ次イテ今更ニ廉覽會ニ於テ形容盡大
ノ畫、描寫、切實ノ文ニ依リ觀ル者ヲシテ更ニ切實ニ底動ヲ共タリ廿八今後ノ
機會ヲ得テ今更ニ如ヤ催ヲナスハ及共救國ノ精神ヲ民衆ニ徹徹セシムルニ致
果大ナルモノアリ

5. 本有一取民衆ノ思想ハ以前党化ノ積弊弱感ニ加ルニ党共方面ノ荒言
無稽ノ宣傳ヲ隨時隨所ニ聽キ及共親日思想ヲ認識徹底セシムルニハ
各階級ノ同聲ヲ覺ヘタリ廿八今後新レ世ヲテ瑞意ハ一可及的ニ宣傳共ニ
各階級ノ民衆ヲ相立、好カクテ以テ宣傳力加ヘシムル如ク指導ノルヲ所要ナリ
尚今後ノ社會教育ニ重ク置キ一取民衆ノ思想ヲ導善ニ切シムルトセリ

廿八年二月十三日

通函成之